

7月の経済指標発表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/30 5月鉱工業指数(8:50) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (欧)5月M3	7/1 6月日銀短観(8:50) 5月毎月勤労統計(10:30) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) 平成26年路線価 (米)ISM製造業景気指数 (米)6月自動車販売台数 (欧・独・仏)6月製造業PMI(確) (独)6月失業率 (英)6月製造業PMI (豪州)金融政策委員会	2 6月マネタリーベース(8:50) 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) (米)5月製造業受注	3 (米)ISM非製造業景気指数 (米)5月貿易収支 (欧)ECB理事会 (欧・独・仏)6月サービス業PMI(確) (欧)5月小売売上高	4 5月家計消費状況調査(14:00) (米)6月雇用統計 (独)5月製造業受注
7 5月景気動向指数(14:00) (独)5月鉱工業生産 ※(シンガポール)4-6月期GDP(速)	8 6月貸出・預金動向(8:50) 5月国際収支(8:50) 6月景気ウォッチャー調査 (米)5月消費者信用残高 (独)5月貿易収支 (英)5月鉱工業生産	9 6月マネーストック(8:50) 5月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)FOMC議事録	10 6月企業物価(8:50) 6月消費動向調査(14:00) 5月機械受注統計(8:50) 5月第3次産業活動指数(8:50) (米)5月卸売在庫 (英)BOE金融政策決定会合 (仏)5月鉱工業生産 (仏)6月消費者物価 (欧)ECB月報 (韓国)金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策決定会合 (マレーシア)金融政策委員会	11 (米)6月財政収支 (独)6月消費者物価(確) (メキシコ)金融政策委員会
14 5月鉱工業指数・確(13:30) 5月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日) (欧)5月鉱工業生産	15 日銀総裁定例記者会見 (米)6月小売売上高 (米)6月輸入物価 (米)5月企業在庫 (米)7月NY連銀指数 (独)7月ZEW景況指数 (英)6月消費者物価	16 7月金融経済月報(14:00) (米)6月生産者物価 (米)6月鉱工業生産 (米)7月NAHB住宅市場指数 (米)ページブック (欧)5月貿易収支 (英)6月失業率 ※(ブラジル)金融政策委員会 (中国)4-6月期GDP	17 7月ロイター短観(8:30) ※7月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 5月建設総合統計(14:00) ※6月全国百貨店売上高(14:30) (米)6月住宅着工件数 (米)7月フィラ連銀指数 (欧)6月消費者物価(確) (欧)5月建設支出 (南ア)金融政策委員会 (トルコ)金融政策委員会	18 金融政策決定会合議事要旨(6月12,13日分)(8:50) 5月毎月勤労統計・確(10:30) ※6月チェーンストア販売統計(14:00) (米)7月ミシガン大消費者センチ(速) (米)6月景気先行指数
21	22 5月全産業活動指数(13:30) 5月景気動向指数改訂(14:00) 6月コンピニエンスストア統計(16:00) ※7月例経済報告 (米)6月消費者物価 (米)5月FHFA住宅価格指数 (米)6月中古住宅販売件数	23 (英)金融政策会議事録 (仏)7月INSEE企業景況感	24 6月貿易統計(8:50) (米)6月新築住宅販売件数 (欧・独・仏)7月製造業PMI(速) (欧・独・仏)7月サービス業PMI(速) (英)6月小売売上高 (ニュージーランド)金融政策委員会 (韓国)4-6月期GDP(速)	25 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)6月耐久財受注 (欧)6月M3 (独)7月IfG景況指数 (英)4-6月期GDP(速)
28 ※(英)7月ネーションワイド住宅価格	29 6月家計調査(8:30) 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月投入・産出物価指数(8:50) 6月商業販売統計(8:50) (米)7月CB消費者信頼感指数 (米)5月S&Pケースシラー住宅価格指数 ※(インド)金融政策委員会	30 6月鉱工業指数(8:50) (米)4-6月期GDP(速) (米)FOMC (独)7月消費者物価(速) (欧)7月経済信頼感 (欧)7月消費者物価(速)	31 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (米)7月自動車販売台数 (欧)6月失業率 (独)7月失業率 (仏)6月消費支出 (イリビ)金融政策委員会	8/1 6月家計消費状況調査(14:00) 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) (米)7月雇用統計 (米)ISM製造業景気指数 (米)6月個人所得・消費 (米)7月ミシガン大消費者センチ(確) (欧・独・仏)7月製造業PMI(確) (英)7月製造業PMI

(備考) 各種情報ベンダー等にて作成。※印は期日が未定のもの。各指標の発表時期は変更される可能性があります。

○第一生命経済研レポートに関するご意見・ご要望は、keizai@drii.dai-ichi-life.co.jp までお寄せ下さい。

編集後記

法人企業統計(財務省)によれば 2014 年 1 Qは全産業全規模ベースで売上高は前年比+5.6%、経常利益は前年比+20.2%となり企業活動の好調さを裏付ける結果となった。また経常利益の水準自体も季節調整値で見ると製造業は07年2Qの既往最高には及ばないものの、非製造業が既往最高レベルを更新しており全産業ベースでも過去最高レベルの経常利益水準となっている。売上高経常利益率についても非製造業の好調もあり+5.1%と統計開始以来の最高を記録している。

90年代初頭のバブル崩壊からその後の失われた20年、労働力人口のピークアウト、デフレ、超高齢化社会という環境変化の中で企業は生き残るために必死に考え様々な手を打ってきた。上場企業では今や当たり前になっているが中期経営計画を策定、公表することによって市場との緊張感ある対話を行い、PDCA サイクルを回しその実現を図ってきたからこそ今の好調さに繋がっていると思われる。もちろん企業部門にはまだまだ課題は多く、環境変化も続くだろう。やらなきゃいけないことは多い。政府の「中計」も同じ。PDCA サイクルを回し着実に前進させて欲しいものだ。(H.S)